

実践『ペルソナ』通信 (No. 115)

「自宅の鍵につける付属品」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大学生の「自宅の鍵に付ける付属品」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の写真観察を通して、実践女子大学生は鍵に付属品を付けている人が多く、付属品の種類としては「キーチェーン・キーストラップ」が最も多く、次に「パスケース」が多い結果となりました。「キーチェーン・キーストラップ」においてはキャラクターのものが多く、金属製やプラスチック製、ゴム製など様々な素材がみられました。「パスケース」や「キーケース」においては、革製品のものが多くみられました。付属品の大きさは、鍵と同じかそれ以下の大きさがほとんどで、キーケースも大きすぎないサイズが好まれる傾向がみられます。鍵の付属品はあくまでの無くさないために着けている人が多く、鍵をそもそも持ってきていない人も多くいました。

調査結果のポイント

- (1) 自宅の鍵につける付属品としてキーチェーン・キーストラップを付けている人の割合が高く、ほとんどが鍵と同じくらいの大きさ
キーチェーン・キーストラップが全体の約 6 割を占めており、その中でも鍵と同じくらいの大きさで、持ち歩く際にかさばりにくいサイズが好まれる傾向にあります。
- (2) キーケースに入れている人は鍵の付属品が鍵より小さいか、付けていない
キーケースも、キーストラップ同様に目立ちすぎない大きさで、鍵がちょうど入る大きさやパスケースや小物入れと一緒にしているものが多くみられました。
- (3) キャラクターの付属品を付けている人が多い
付属品の種類関係なく、全体で 4 割以上の人々がキャラクターをモチーフにしたものを使用していました。
- (4) どの付属品も単色が多い
色の系統は明るいものや落ち着いた色など色々だったが、ほとんどが一色にそろえられていた

- (5) 鍵を持ってきていない人もいる
自宅に家族がいる方は、鍵を持ち歩かない人もいる

調査概要

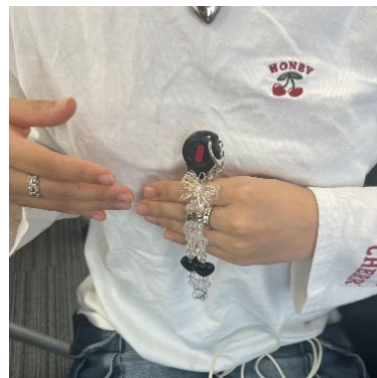
- ・調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- ・調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- ・調査期間：2023年11月
- ・調査場所：実践女子大学

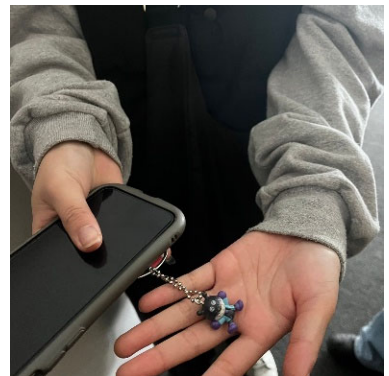
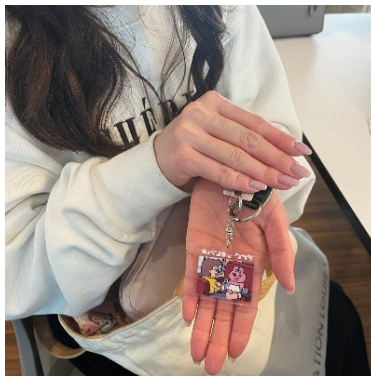
調査担当者

実践『ペルソナ』研究会 伊藤杏莉・阿部瞳・廣瀬萌奈・中島鈴

写真

【キーチェーン・キーストラップ】







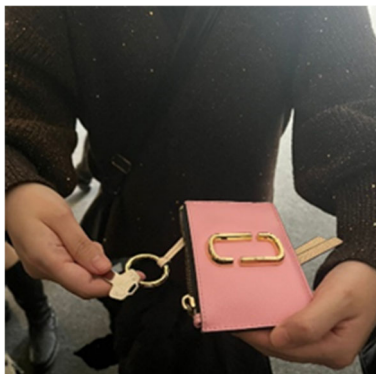
【ポーチ】



【ポーチ&キーチェーン・キーストラップ】

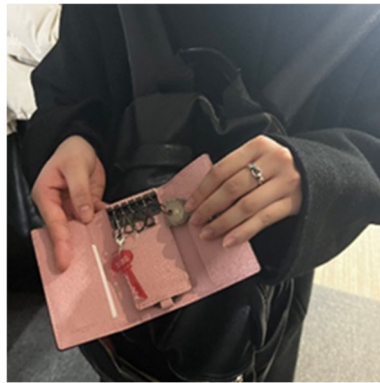


【パスケース】





【キーケース】



【財布】



【カラビナ】



【キーカバー】



調査後記

今回の調査を通じて、女子大生が自宅の鍵に付ける付属品で最も多いのは鍵と同じくらい大きさのキーチェーン・キーストラップであることが分かりました。A面の調査結果の通り、Be面の写真観察でも場所を取らない大きさで探しやすい付属品が多い結果となりました。また新たに、キャラクターをモチーフにしたものや単色に絞られたものがどの付属品でも共通してみられました。

このことから女子大生は場所を取らない大きさと、色を基準に自宅の鍵に付ける付属品を選び、その中でも自分の好きなキャラクターや色のものを付けていることが分かりました。

たくさんの方々のご協力により、本調査を無事に終えることができました。今回の調査で学んだことや反省点を今後に活かし、より良い調査・分析を心がけていきたいと思えます。改めて調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

